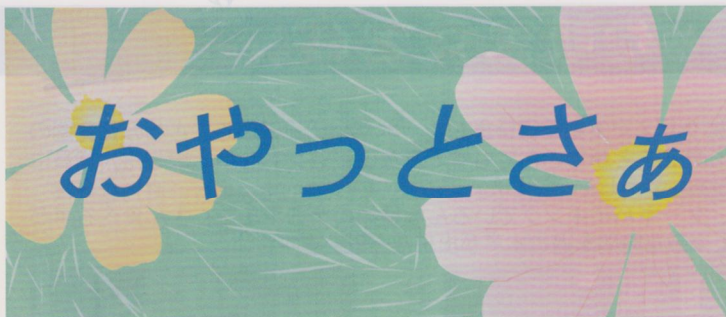




編集・発行
 垂水市立介護老人保健施設
コスモス苑
 TEL 0994-32-5200
 FAX 0994-32-5280
 E-mail: kosumosuen@po.city.
 tarumizu.kagoshima.jp
 VOL.21



コスモス苑の施設長として1年半勤めました。

この1年半、回診あるいは苑内を歩いているときの、入所様の笑顔あるいはぬくもりのある手との握手に何度癒されたことでしょうか。

4月から、垂水中央病院の福本副院長が、新しい施設長として就任されます。

福本施設長のもと、よりよいコスモス苑になってほしいと思います。

4月より医療介護保険の改定がありました。内容の特徴は在宅医療への給付が手厚くなったことです。

垂水市も市民の高齢化がどんどん進んでいます。今後は在宅での訪問医療看護介護が大切になってきます。

そこで垂水中央病院ではこの4月より訪問医療が専門の池田忠先生を中心に、在宅療養支援室を新設し、在宅療養支援病院として在宅医療を強化してゆきます。

それに先立ち、今年の1月より国のモデル事業として、垂水市に中央病院を中心とした在宅ICTシステムが導入されました。テレビでも紹介されご存知の方

もいると思いますが、在宅の患者様に（主に心不全の患者）、血圧・脈拍・体重のモニターをし、そのデータをオンラインで中央病院のサーバーに送り、常時主治医が患者様の病状を把握し、その情報を各医療機関・介護ステーションで共有するというシステムです。3月末にはこのモデル事業の報告をする予定です。今後はそのICTモデル事業を発展させ、多施設・多職種との連携により在宅医療の質を高めていきます。

コスモス苑も今後、「退院した患者様の病院から在宅への橋渡し、日常生活が不自由な方にリハビリ等の医療サービスを行い家庭生活を安心して送れるようにする」という介護老人保健施設の本当の理念を目指してゆくのが必要かもしれません。現実にはいろいろな障害があり、困難なのかもしれませんが、垂水中央病院と円滑な連携をはかり私は中央病院の方から皆様の在宅復帰を支援してゆきたいと思っています。

施設長 長谷 茂也



クリスマス会



平成 23 年 12 月にクリスマス会を行いました。ボランティアにてさざなみ保育園の園児による催し物を見ることができとてもすてきなプレゼントを頂きました。職員によるダンスも笑いがあって楽しそうでした。

お茶の時間では、ケーキバイキングでいろんな種類のケーキをたくさん食べる事が出来ました。きっと素敵な時間を過ごす事が出来たと思います。



ステキなプレゼントありがとう、利用者様も喜んでおられました



イエイ！イエイ！
みんなで踊ろうゼナ



ケーキバイキング、はい！召し上がれ♡

私も
食べたあい

門松ボランティア

「I・I会」という同級生等で組織しています会員の皆様から、毎年コスモス苑の門松をボランティアで作製していただいております。

「新たな気持ちで新年を迎えることができます」と、利用者様の皆様も大変喜ばれております。本当にありがとうございました。



竹のバランスをとるのが難しそお
(^v^)



職人さんがんばれエ！



みんなではい！ポーズ♡



“完成” 皆様ありがとうございました

庭園の除草作業

垂水市シルバー人センター会員の皆様から、毎年コスモス苑庭園の除草作業をしていただいておりますが、今年も会員の皆様が、大勢駆けつけていただき、芝生の刈り込みや花壇の整理、木々の剪定等をしていただきました。

おかげさまで見違えるほどきれいな庭園となりました。



養殖カンパチ

毎年垂水市漁協同組合より養殖カンパチ（海の桜鮎）が利用者様の皆様に届けられています。今年も年末にご寄贈いただき、早速、「カンパチの照り焼き」にして召し上がっていただきました。皆様から「おいしい」「魚が一番」等と笑顔で感謝の言葉をいただきました。



大きな
カンパチ！



はやく
食べたいよお



おいしそうに
出来あがり
ました

かご作り

最近のコスモス苑での手作業といえば、紙バンドでのかご作り!数多くある手作業の中で大人気です。ある利用者様の方が作られたかごをスタッフや面会者が見て、かごの出来栄に「いいのが出来ましたね」「こんな良いのが自分で作れるの?」といった賞賛の声が多く上がり、一人増えまた一人増えと、今ではお互いに助け合いながら楽しむ場面も見られる等、かご作りの交流の場にもなっています。

開始当初は、遠巻きに見学されていた方も今では作ることを楽しめるようになられており、専ら自分で使うものとして作るのではなく、ご家族への贈り物として作られる方が多いです。完成したかごにお菓子をいっぱい詰めて遠くに住むご家族に送られた方もおられました。「できた!」「完成した!」という体験が体へ与える影響は大きく、気持ちを前向きにする事が出来、生活を楽しもうとする姿勢を引き出すなど良い作用が働いていると感じます。

これからも利用者様の方々の出来る能力に目を向けて、その人らしく日々の生活を楽しんでいただけるよう職員一同、取り組んでいきます。

なお、当施設玄関にて、利用者の方が作られた作品を展示しています。御来苑の際には、是非ご鑑賞ください。

担当：齋藤 理恵



完成!



とてもきれいに出来ました



ここはですね
このようにしたらいいですよ♡



難しい作業でも
今では慣れてしまいましたあ

新人職員の紹介



宇都宮大輔です。老健での勤務は初めてとなります。

色々とお迷惑をかけると思いますが、一生懸命頑張りますので宜しくお願い致します。



昨年、12月に垂水中央病院より異動して参りました。

理学療法士の小倉由佳です。利用者様に「一日一笑」を提供できるようがんばっていきます。よろしくお願い致します。



平成24年1月に入職致しました。迫田菜摘です。まだまだ分からない事が多くご迷惑をかけてしまう事もあると思いますが、日々成長していけるように笑顔と感謝の気持ちを忘れず頑張ります。宜しくお願い致します。

編集後記

皆様こんにちは。4月になり少しは暖かく過ごしやすい季節になりました。皆様は、いかがお過ごしでしょうか。今回の「おやっとさあ」は10月～3月までのコスモス苑での動きを掲載しました。今回も写真を多く取り入れていますので、観やすいと思います。

平成24年4月より介護保険法が一部変わっており利用料金等が変わっていますので、不明な点や質問等ありましたら、相談窓口まで連絡をお願い致します。次回も皆様に見やすい新聞を作成していきたいと思えます。

新聞部サブリーダー

福徳 一隆

